

環境目標（３）環境負荷の少ない自立・循環型のまちづくり

～省エネルギー・資源リサイクルの推進～

わたしたちは、大量生産・大量消費・大量廃棄により自然環境に負荷を与えてきました。良好な環境を保つには、ゼロエミッションを基調とした資源やエネルギーの有効利用を進め、環境負荷を低減する必要があります。そして、他地域への影響と依存の少ないまちづくりに取り組むことが求められています。

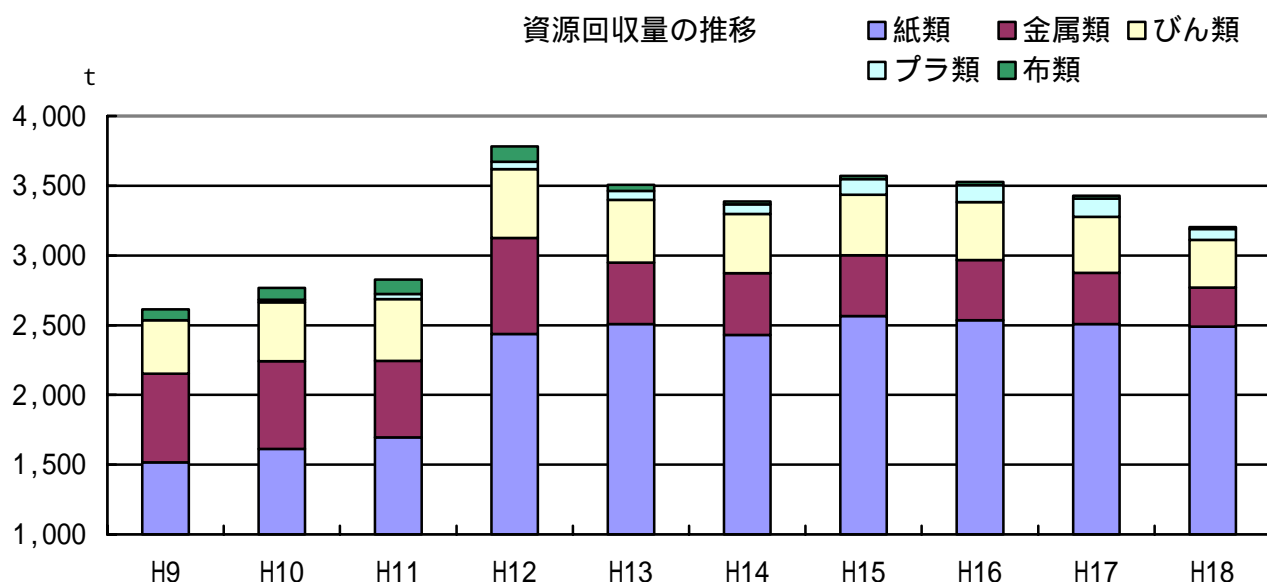
こうしたことから、さわやかな空気と星空・静けさ・きれいな水辺・安全でおいしい水を将来の世代に引き継ぐ環境負荷の少ない自立・循環型のまちづくりを進めます。

～現況～

3 Rの推進

資源回収（環境課）

本市では、毎月1回各行政区において資源回収を行っています。区の公民館や集会場等を会場とし、家庭で分別したものを種類ごとに排出します。区長、生活環境委員を中心に区民が区民の分別指導に当たるなど、円滑に資源回収が行えるよう工夫しながら取り組んでいます。



平成17年度以前の資源回収実績は旧新城市、旧鳳来町、旧作手村の実績合計。

しんしろエコショップ認定制度（環境課）

しんしろエコショップ認定制度は、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを自主的に実施する販売店に対し、市が市民とともに審査認定し、また、こうした事業所の取り組みを市民が評価・利用することにより、行政・事業所・市民が協働で市全体のごみの減量並びに限りある資源の保護等に努めることに対する意識の高揚を図ることを目的とした制度です。認定を受けた販売店は「しんしろエコショップ認定シール」の交付と販売店の取り組み等を市のホームページや広報で紹介をします。

認定審査は、公募市民による「しんしろエコショップ認定審査員」4名の方が、認定販売店の現地審査や認定会議により行います。

【しんしろエコショップ認定の評価】

- ・ R R R（トリプルアール）... 3Rの取り組み全てを実施している販売店。
- ・ R R（ダブルアール）... 3Rのうち2種類の取り組みを実施している販売店。
- ・ R（シングルアール）... 3Rのうち1種類の取り組みを実施している販売店。

【しんしろエコショップ認定販売店】（平成18年度末現在）

	販売店名	行政区	業種	認定種類	認定日
1	織田商店	有海	酒等販売	R	H18.1.26
2	新城無線	栄町	家電販売	R R	〃
3	岡田屋電機商会	新城中町	家電販売	R	H18.2.9
4	マルブン	栄町	衣料販売	R R	〃
5	ユニー新城店	的場	小売百貨	R R R	〃
6	日野屋商店	本町	酒蔵	R R R	H18.2.21
7	寝具の夏目	富沢	寝具等販売	R R R	〃
8	渡辺カメラ	新城中町	カメラ・現像	R R	H18.3.17
9	ミドリヤ	緑が丘	食品等販売	R R R	〃
10	沢田畳店	平井	畳販売	R R R	〃
11	つくで手づくり村	作手清岳	農産物等販売	R R R	H19.2.19
12	平田畳店	長篠	畳販売	R R R	〃
13	リオスオジマヤ電気	長篠	家電販売	R R	〃
14	伊藤食料品店	長篠	家電販売	R R R	〃
15	電化プラザマツシタ長篠店	長篠	家電販売	R R	〃
16	岡本屋酒店	長篠	酒等販売	R R R	〃



認定審査の様子



お店の取り組み（岡本屋酒店）

生ごみ処理器等設置費補助金交付制度（環境課）

家庭から出る生ごみの減量化対策の一環として、コンポスト化容器または電気生ごみ処理機の設置に対し補助金交付事業を行っています。合併に伴い、それまで各市町村で異なった補助限度額をコンポスト 2,000 円、電気式 15,000 円に統一しました。

【生ごみ処理器等設置費補助金交付実績】

年度	地区	設置基数		補助金総額	補助金限度額（1基）	
		コンポスト	電気式		コンポスト	電気式
H15	新城	10基	12台	139,500円	2,000円	10,000円
	鳳来	-	38台	563,916円	-	15,000円
	作手	4基	5台	109,900円	3,000円	20,000円
H16	新城	7基	18台	194,000円	2,000円	10,000円
	鳳来	-	11台	161,670円	-	15,000円
	作手	4基	7台	145,800円	3,000円	20,000円
H17 合併前	新城	10基	8台	98,500円	2,000円	10,000円
	鳳来	-	6台	87,085円	-	15,000円
	作手	2基	3台	66,000円	3,000円	20,000円
合併後	新城市	8基	10台	158,600円	2,000円	15,000円
H18	新城市	15基	30台	445,900円	2,000円	15,000円

公共施設の環境配慮型整備の推進

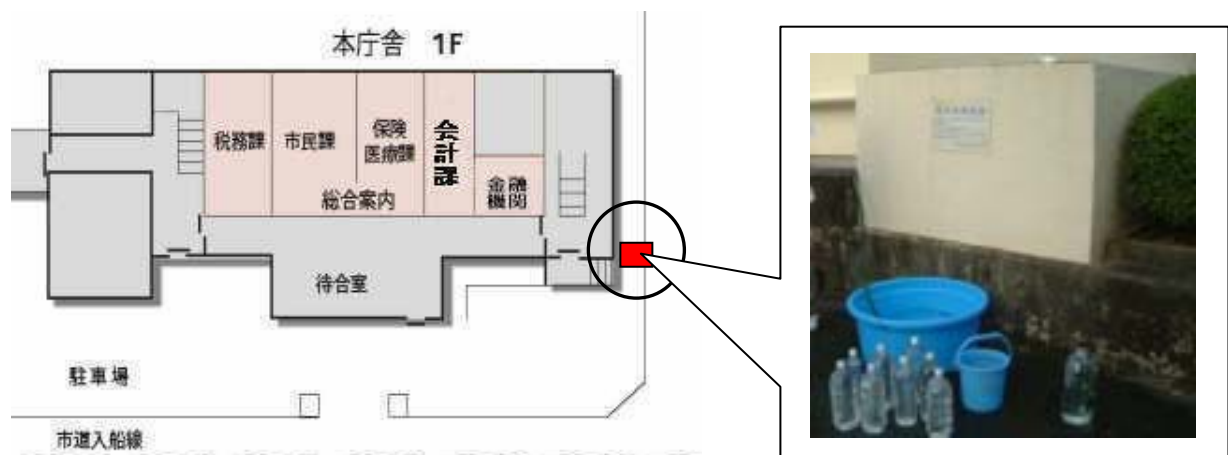
自然エネルギー等の利用（教育委員会庶務課）

東郷西小学校、新城中学校屋内運動場、八名幼稚園に太陽光発電設備を設置しました。校内使用電力の補助や非常時の電力としてだけでなく、環境への負荷低減等環境問題への考え方や発電表示パネル等を使った環境教育への教材として利用しています。

雨水の利用（環境課）

市役所本庁舎クーリングタワーの設置跡地を利用し、約 600 リットルを貯水することができる雨水利用施設を設置しました。

これにより、雨水を積極的に利用した様々な取り組みを展開していきます。



森林総合産業の創出（森林政策課）

平成 13 年度、旧新城市において木質バイオマス利用の取り組みが始まり、翌年「新城市地域新エネルギービジョン」を策定、平成 15 年度にビジョンの中心となる木質バイオマス利用の事業化計画調査を実施し調査報告書として取りまとめました。

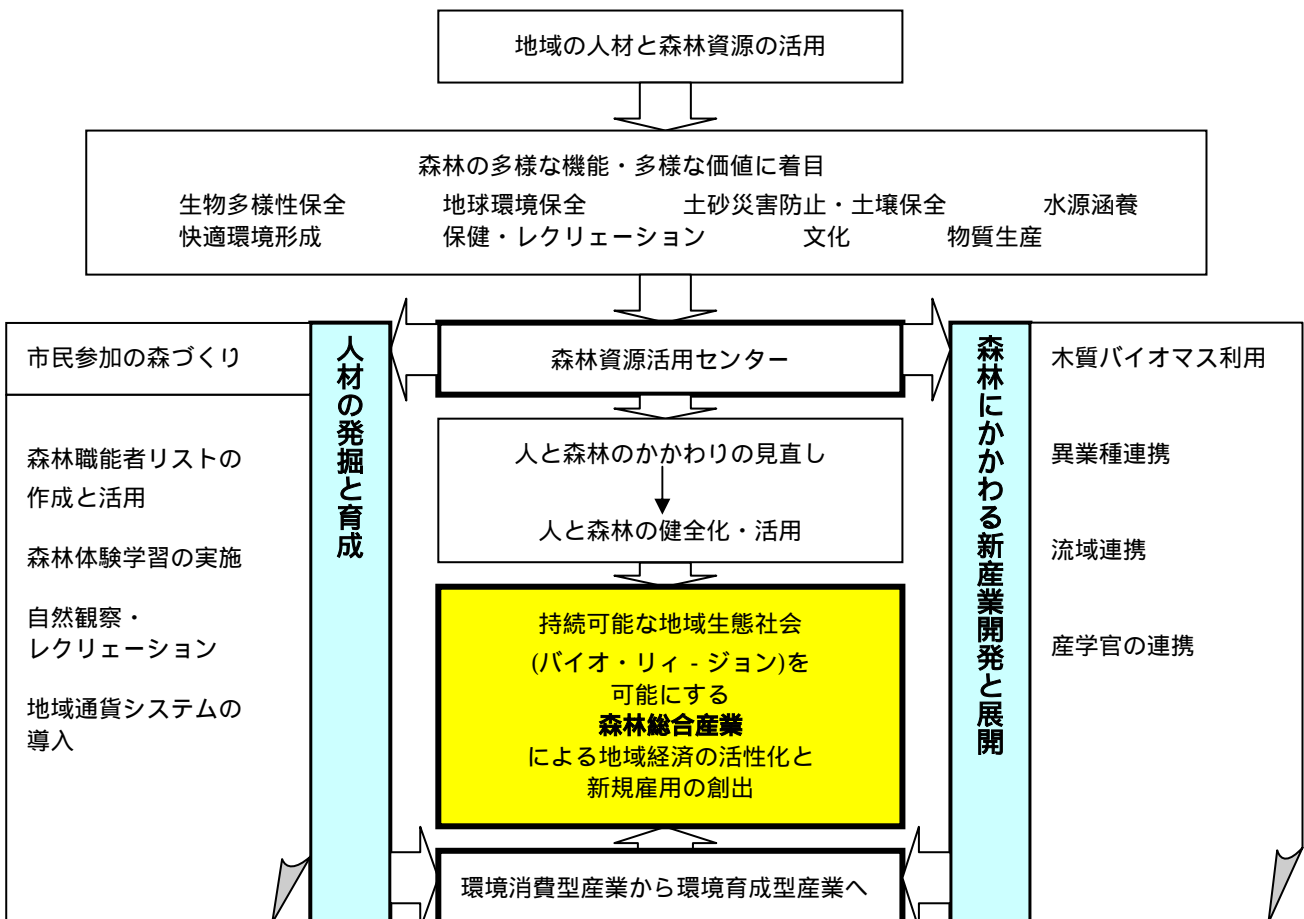
これらの経緯を踏まえ、平成 16 年度に内閣府・地域再生本部の「地域再生推進のためのプログラム」に基づく計画が認定され、平成 17 年 10 月の市町村合併後も新市において継続されることとなりました。

【地域再生計画の概要】

本計画は、森林の多様な機能と多様な価値に着目し、地域の人材と森林資源を最大限活用する新たな産業をつくりだすため、「人材の発掘と育成」（森林に関わる人材の育成と無料職業紹介事業、森林体験学習の実施、自然観察・レクリエーション、地域通貨の導入など）と「森林に関わる新産業開発と展開」（森林所有者との連携、異業種連携、流域連携、産学官の連携、木質バイオマス利用）に取り組むものです。

これにより、従来環境消費型産業から環境育成型産業への転換による地域経済の活性化と新規雇用機会の創出および持続可能な地域生態社会をめざします。

「森林総合産業の創出」・概念図



- コラム - 新城市を味わう

新城茶

豊川の清流とさわやかな緑、山あいから湧き立つ朝霧。こうした自然の恵みの中で、豊かに育まれた三河しんしろ茶は愛知県一の煎茶生産量を誇っています。

特産品の茶の栽培が盛んで、新城茶のブランド名のもとに、量から質の良い優良茶へと順次栽培形態を変え、現在では静岡茶市場において新城茶の名声は非常に高いものがあります。

品種は、煎茶本来の深い味と香りを持つ「やぶきた種」が90%以上を占め、缶入り飲料水「しんしろ茶」としても販売されています。

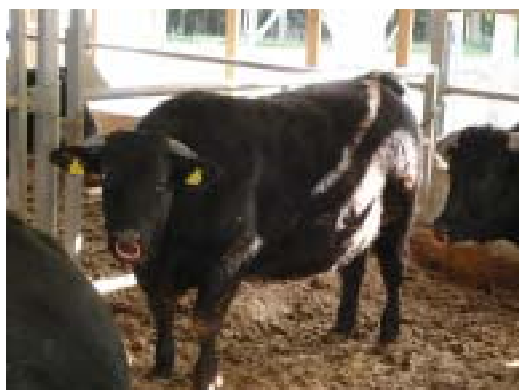


八名丸里芋

八名丸（やなまる）は生産発祥地である旧八名郡（現在の新城市一畑田地区）という地名と丸い形から、昭和20年ごろに命名された里芋の在来品種で、粘りが強くやわらかい特徴を持ち、味・食感ともに優れています。8月から3月までが出荷時期で、煮物やおでんを始め、皮ごとゆでて食べるキヌカツギ（ ）もお薦めです。また「愛知の伝統野菜」にも選定され、生産振興と消費拡大にむけた取り組みが進められています。



キヌカツギ = 小玉の里芋を皮のままゆでて味噌や生姜醤油につけて食べること。



鳳来牛

大自然のパワーを体いっぱい吸収しながら育つ「鳳来牛」は、地元子牛生産農家で生まれ、地元肥育農家で育った極上和牛です。この厳選された鳳来牛は、「こんたく長篠」でご賞味いただけます。生産者の顔が見える生産販売体制で、安心して食べていただける見事なしもふり肉を、JA直営を活かして低価格でご提供しています。

やわらかな肉質、心に響くうま味は、恵まれた山里からのメッセージです。

～ 施策実施状況 ～

キーワード 資源を大切にすまち

施策の目標 省エネルギー・省資源の推進

省エネルギー・省資源型商品の開発と利用を促進するとともに、大型事業所から発生する廃熱の利用をはじめ各種未利用エネルギーの有効利用とエネルギー循環型のまちづくりを進めます。

施策項目 エネルギー循環型環境の整備検討

事業名	区分	担当課	評価
地域再生計画「森林総合産業の創出」	継続	森林政策課	

課題・問題点 取り組みの活発化。

施策の展開 計画に沿った活動を積極的にPRしながら展開していく。

取り組み内容

木質バイオマス利用の事業化検討会において検討した結果を踏まえ、市では事業としての採算性等の現状から判断して即事業化に向けた動きは難しいという結論に達しました。今後、木質バイオマスの利用は、化石燃料の代替資源としての設備・機械等の技術が進み普及すると思われることから、その情報収集並びに状況把握に努め、引き続き検討していくことになりました。

小型木ガス発電システムによるPR

木材チップを利用した発電出力 1 キロワット強のデモンストラーションシステムです。木質バイオマス利用の事業化に向け、多くの人に木質バイオマス利用の取り組みを普及・啓発するためのPRに活用しました。



新たな課題 今後の展開 事業としての採算が課題。社会的動向を見極めつつ、利活用の状況把握に努めながら、引き続き検討していく。

施策項目 省エネルギー型住宅環境・事業所環境の検討・整備

事業名	区分	担当課	評価
住宅用太陽光発電システム設置費補助	継続	環境課	

課題・問題点 国の補助が平成 17 年度途中でなくなった。現状の予算の範囲では、少数の方にしか設置費を補助できない。

施策の展開 多くの方に設置の補助ができるよう検討する。

取り組み内容

本市では、市民のクリーンエネルギー利用を積極的に支援することにより環境保全に対する意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付事業を行っています。

より多くの設置者に補助金を交付できるよう、補助金額を上限 20 万円に変更しました。(5 万円に太陽電池の最大出力値 (kW 表示・小数点第 2 位未満を四捨五入) を乗じた額。)

【住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付実績】

年度	申込件数	総合計出力	補助金額
H16	5 件	21.32 kW	1,920,000 円
H17	5 件	23.84 kW	2,000,000 円
H18	18 件	61.36 kW	2,852,000 円

新たな課題 今後の展開 住宅用太陽光発電システムの普及が高まり、件数の増加につながっている。家庭での温暖化対策促進のためにも、継続していく。

施策の目標 水資源の有効利用

大切な資源である水の一層の有効利用を図り、下流域に良質な水を送るよう努めます。そのため、公共施設をはじめとする雨水の有効利用を推進します。

施策項目 主要施設における雨水利用の推進

事業名	区分	担当課	評価								
雨水利用モニター制度	継続	環境課									
課題・問題点	市民の家庭生活において、雨水利用の促進を図ることが必要。										
施策の展開	本庁舎に雨水の貯水槽を設置し、有効利用を実践することにより、市民にPRしていく。雨水利用のモニター制度の実施。										
取り組み内容											
<p>庭への水まきなど市民の雨水利用を促進するため、貯水のための器具を使用して実際に雨水を利用してもらう雨水利用モニターを実施しました。</p> <p>貯水のための器具は、雨樋に取り付けます。約2か月間、雨水利用を体験していただき、器具の使い具合や雨水の利用方法などをアンケート調査しました。</p> <p>【アンケート調査結果】(モニター参加者5名)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>器具の取り付け</td> <td>比較的簡単3名、普通2名</td> </tr> <tr> <td>器具の利用具合</td> <td>使いやすかった3名、どちらとも言えない2名</td> </tr> <tr> <td>雨水利用方法</td> <td>庭木・花への散水、ペット飼育用の水、農作物への水まきなど</td> </tr> <tr> <td>節水の効果</td> <td>効果あり5名</td> </tr> </tbody> </table>				器具の取り付け	比較的簡単3名、普通2名	器具の利用具合	使いやすかった3名、どちらとも言えない2名	雨水利用方法	庭木・花への散水、ペット飼育用の水、農作物への水まきなど	節水の効果	効果あり5名
器具の取り付け	比較的簡単3名、普通2名										
器具の利用具合	使いやすかった3名、どちらとも言えない2名										
雨水利用方法	庭木・花への散水、ペット飼育用の水、農作物への水まきなど										
節水の効果	効果あり5名										
新たな課題 今後の展開	モニター申請された方の中に、器具のサイズが雨樋に合わないケースがあった。本庁舎の雨水利用でのPRと併せ、引き続き雨水利用を推進していく。										

施策の目標 ごみ減量・資源リサイクルの推進

ごみ減量運動や資源リサイクル運動を推進するとともに、生産・流通・販売・消費の各段階の連携強化により資源を大切にすまの仕組みを構築します。

施策項目 ごみ減量運動の一層の推進

事業名	区分	担当課	評価		
しんしろエコショップ認定制度	継続	環境課			
課題・問題点	認定販売店の申請が少ない。				
施策の展開	PRの方法や制度の見直しを含め、いかに認定販売店を増やすか検討していく。				
取り組み内容					
<p>平成18年度は、鳳来・作手地区での推進を図り、鳳来地区5店舗、作手地区1店舗の認定することができました。</p> <p>【しんしろエコショップ認定状況】(平成18年度)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>11 つくで手づくり村</td> <td>認定の種類 R R R</td> </tr> </tbody> </table>				11 つくで手づくり村	認定の種類 R R R
11 つくで手づくり村	認定の種類 R R R				
取り組みの内容					
リデュース	<ul style="list-style-type: none"> マイバッグ持参の推進 店内の会計レジ付近4か所にチラシを貼りマイバッグ持参をPR。 豆腐販売所では初めてのお客さんに対し、マイバッグ持参を推進。 				
リユース	<ul style="list-style-type: none"> 通い箱の使用...会員農家は、野菜等を持参するとき同じ通い箱を何度も使用。 ダンボールの保管...ダンボールを必要な人がいつでも使用できるように保管。 				
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> おからを再利用...コロケの材料として利用販売、肥料としても再利用。 売れ残った野菜を利用...漬物として販売、家畜のえさや堆肥用に利用。 				

12 平田畳店		認定の種類 R R R
取り組みの内容		
リデュース	・古畳、ござ、古縁などは倉庫に保管し、希望者に譲る。	
リユース	・古畳を補修し保管。中古畳の使用推奨 1 部屋数枚の畳補修にその部分への中古畳を推奨している。	
リサイクル	・畳表、畳縁、端材、わら床、畳を再利用 きれいなもの... ござや小物として再利用し販売。 汚れたもの... 農業用、重機の道、肥料、ロープなど	
13 リオスオジマヤ電気		認定の種類 R R
取り組みの内容		
リユース	・販売した商品の修理... 修理依頼後、商品を回収。	
リサイクル	・使用済電池のリサイクル... 店内に電池の回収ボックスを設け回収。 ・生ごみ処理機の推奨... 生ごみ処理機設置費補助制度を P R。	
14 伊藤食料品店		認定の種類 R R R
取り組みの内容		
リデュース	・惣菜のばら売り... お店で揚げたフライ等を 1 つずつ買うことができる。 ・食用油をできるだけ廃棄しないよう工夫 る過した後使用することで味もよくなり、廃棄も少なくなる。また、貯蔵タンクを使用することで、空き缶の排出はない。	
リユース	・仕入れにはコンテナや発泡箱を何度も使用	
リサイクル	・白色トレイのリサイクル回収... 店頭回収し、ゾル化剤により溶かして減容化。 ・生ごみを腐葉土化... 生ごみを処理機にかけ、腐葉土を生成。希望者に配布。 ・チラシは再生紙を使用... 自作チラシで再生紙であることを表示している。	
15 電化プラザマツシタ長篠店		認定の種類 R R
取り組みの内容		
リユース	・販売した商品の修理... その場での修理、店に持ち込んで修理など。 お年寄りが多く、売った後のメンテナンス等のサービスを期待されている。	
リサイクル	・使用済電池のリサイクル... 店内に電池の回収ボックスを設け、回収。 ・家電 4 品目の収集運搬... 引き取りのみの依頼も運賃に差をつけて引き受ける。	
16 岡本屋酒店		認定の種類 R R R
取り組みの内容		
リデュース	・お酒の量り売り... 4 合、一升びんでの販売 ・包装、袋等の必要の有無を確認... 要らないという人が増えてきた	
リユース	・生きびんの回収 御用聞きで回収する場合と店に持ち込まれたものを豊橋市の業者に引渡し。	
リサイクル	・空き缶、ペットボトル、ダンボールの回収 店に持ち込まれたものを豊橋市の業者に引渡し。 ・チラシに再生紙を使用... 年 6 回新聞折込と月 1 回の再生紙チラシを作成。	



他の自治体との交流

しんしろエコショップ認定制度は、日本の環境首都コンテスト 2006 において先進事例として全国に紹介されたことから、エコショップ制度のしくみづくりを進める山形県山形市から講演依頼があり、「エコショップ学習会」の講師として認定審査員（市民）と一緒に交流の機会を得ることができました。

新たな課題 今後の展開

商工会にも働きかけ、事業所からのごみ減量につながるよう P R するとともに、さらにエコショップ認定店を増やしていく。

事業名		区分	担当課	評価																																															
レジカゴバッグ利用モニター制度		新規	環境課																																																
取り組み内容																																																			
<p>マイバッグを持参し、レジ袋等の不要な包装を断ることでごみの減量や地球温暖化防止のための「ちょっとした心遣い」への気づきを目的として、レジカゴバッグのモニター制度を実施しました。約2か月間のレジカゴバッグ利用で、レジ袋に対することをアンケート調査しました。</p> <p>【アンケート調査結果】(モニター参加者15名)</p> <table border="1"> <tr> <td>期間中の買い物頻度</td> <td>毎日1名、週に4~5回3名、週に2~3回6名、週に1回4名、2週間に1回1名</td> </tr> <tr> <td>レジ袋の用途</td> <td>生ごみなど小分け用、資源ごみのストック用、ごみとして捨てる等</td> </tr> <tr> <td>レジ袋提供に対する考え</td> <td>便利である、ごみ減量のため控えるべき、当然のサービスである、有料で配布すべき等</td> </tr> <tr> <td>有料化された場合の対応</td> <td>買い物袋を持参する、時々有料のレジ袋を買う等</td> </tr> <tr> <td>店舗への希望</td> <td>レジ袋の回収、マイバッグポイント制度の充実、簡易包装、量り売りの実施等</td> </tr> </table>					期間中の買い物頻度	毎日1名、週に4~5回3名、週に2~3回6名、週に1回4名、2週間に1回1名	レジ袋の用途	生ごみなど小分け用、資源ごみのストック用、ごみとして捨てる等	レジ袋提供に対する考え	便利である、ごみ減量のため控えるべき、当然のサービスである、有料で配布すべき等	有料化された場合の対応	買い物袋を持参する、時々有料のレジ袋を買う等	店舗への希望	レジ袋の回収、マイバッグポイント制度の充実、簡易包装、量り売りの実施等																																					
期間中の買い物頻度	毎日1名、週に4~5回3名、週に2~3回6名、週に1回4名、2週間に1回1名																																																		
レジ袋の用途	生ごみなど小分け用、資源ごみのストック用、ごみとして捨てる等																																																		
レジ袋提供に対する考え	便利である、ごみ減量のため控えるべき、当然のサービスである、有料で配布すべき等																																																		
有料化された場合の対応	買い物袋を持参する、時々有料のレジ袋を買う等																																																		
店舗への希望	レジ袋の回収、マイバッグポイント制度の充実、簡易包装、量り売りの実施等																																																		
課題・問題点等	レジ袋の使用が生活に定着してしまっている。意識の改善が必要。																																																		
今後の展開	引き続き、モニター制度の実施やアンケート調査によるマイバッグ定着のための市民意見等を参考に、PRを促し利用者の増加に努める。																																																		
施策項目	資源リサイクル運動の推進と団体などの支援																																																		
事業名		区分	担当課	評価																																															
廃棄物減量化・資源再利用推進		継続	環境課																																																
課題・問題点	資源物の適正処理及び有価物の有効取引を行うことが重要である。																																																		
施策の展開	資源物の引渡価格の市場動向を的確に捉え、有効かつ適正なルートでの処理に努める。																																																		
取り組み内容																																																			
<p>資源回収に係る収集処理と売却</p> <p>資源回収に係る収集処理において、市は委託業者に収集処理委託料を支払いますが、引き渡しの際に有価物として値のつくものは、資源物の売却という形で市の収入としています。</p> <p>収入と支出を明確に区別することで、市場動向の把握と収集処理の適正化を図ります。</p> <p>【資源回収に係る歳入歳出の状況】(平成18年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">歳入</th> <th colspan="2">歳出</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新聞</td> <td>4,220,761円</td> <td>空き瓶処理委託</td> <td>2,903,723円</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>972,763円</td> <td>処分場排出資源物処理委託</td> <td>88,546円</td> </tr> <tr> <td>ダンボール</td> <td>1,205,621円</td> <td>ペットボトル・白色トレイ</td> <td rowspan="2">5,352,790円</td> </tr> <tr> <td>牛乳パック</td> <td>47,920円</td> <td>収集処理委託</td> </tr> <tr> <td>紙製容器包装</td> <td>104,291円</td> <td>古紙処理委託</td> <td>899,070円</td> </tr> <tr> <td>スチール</td> <td>2,786,505円</td> <td>資源物収集委託</td> <td>29,095,094円</td> </tr> <tr> <td>アルミ</td> <td>2,715,540円</td> <td>処分場分別作業委託</td> <td>1,815,576円</td> </tr> <tr> <td>生きびん</td> <td>22,944円</td> <td>資源回収団体報奨金</td> <td>4,089,100円</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>399,720円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,476,065円</td> <td>計</td> <td>44,243,899円</td> </tr> </tbody> </table>					歳入		歳出		項目	金額	項目	金額	新聞	4,220,761円	空き瓶処理委託	2,903,723円	雑誌	972,763円	処分場排出資源物処理委託	88,546円	ダンボール	1,205,621円	ペットボトル・白色トレイ	5,352,790円	牛乳パック	47,920円	収集処理委託	紙製容器包装	104,291円	古紙処理委託	899,070円	スチール	2,786,505円	資源物収集委託	29,095,094円	アルミ	2,715,540円	処分場分別作業委託	1,815,576円	生きびん	22,944円	資源回収団体報奨金	4,089,100円	ペットボトル	399,720円			計	12,476,065円	計	44,243,899円
歳入		歳出																																																	
項目	金額	項目	金額																																																
新聞	4,220,761円	空き瓶処理委託	2,903,723円																																																
雑誌	972,763円	処分場排出資源物処理委託	88,546円																																																
ダンボール	1,205,621円	ペットボトル・白色トレイ	5,352,790円																																																
牛乳パック	47,920円	収集処理委託																																																	
紙製容器包装	104,291円	古紙処理委託	899,070円																																																
スチール	2,786,505円	資源物収集委託	29,095,094円																																																
アルミ	2,715,540円	処分場分別作業委託	1,815,576円																																																
生きびん	22,944円	資源回収団体報奨金	4,089,100円																																																
ペットボトル	399,720円																																																		
計	12,476,065円	計	44,243,899円																																																
新たな課題 今後の展開	ストックヤードの建設により、3地区すべての資源にするものをまとめ、より効率的に再生処理できるよう体制を整備する。																																																		

施策項目 資源リサイクルに関する情報の収集および普及啓発

事業名	区分	担当課	評価
廃棄物減量化・資源再利用推進	継続	環境課	

課題・問題点 旧市町村ごとに異なる分別ルール、収集体制等を早急に統一あるいは効率化する必要がある。

施策の展開 分別表を統一するとともに、資源回収会場での分別指導等を実施し、各会場の現状把握に努め、地域特性に合った収集体制を整えていく。

取り組み内容

分別表の作成

市町村合併後の家庭での分別方法を統一し、「循環するまちへ～新城市循環型社会形成のために～」を作成しました。循環型社会形成推進基本法による3Rの推進を基調としたものとなっています。

分別の種類ごとの分別方法や排出時の注意点等を記載した「新城市分別ガイド」、行政区ごとの「廃棄物収集カレンダー」と併せ、世帯配布しています。

また、市内に住む外国人の方のためのポルトガル語版、英語版の分別表や収集カレンダーを作成し、配布しています。



**新たな課題
今後の展開**

市民に理解しやすい分別表の作成に心がけ、広く分別の徹底を図る。3Rの推進による資源にするものを含むすべてのごみの減量をめざす。